

## 1 趣旨

人それぞれに立場や年齢差で、考えが違います。組織経営は、違った意見を持つ人々が経営目標というゴールに向かって、協力し合って達成します。ブレインストーミング(BS)は、情報の共有化、アイデアの統合化、スケジュールの共有化等人的組織に欠かせないツールです。

## 2 基本的に守るルール

- (1) 批判厳禁ただし質問はOK  
経験者や上司は、その知識経験から部下等の意見を批判しがちです。人材を育成する意味でも意見を聞く耳が必要です。
- (2) 自由奔放を歓迎  
アイデアに常識・非常識の区別は困難です。公序良俗を欠く意見は困りますが、本人が一生懸命考えたアイデアは尊重しましょう。
- (3) 質より量ただし安易な質でなく良く考えてたくさん出すということ。  
アイデアは、自然に進化するといわれます。多くの発想が良いアイデアに繋がります。
- (4) 結合改善、他人の発言・発表に刺激されアイデア等の結合・改善をする。  
意外と他人の発言を聞いて、こうしたらもっと良いと思われるアイデアが生まれます。



## 3 進め方のポイント

- (1) テーマは参加者が理解できるように具体的に決めましょう。  
例えば、現場の事故を減らすにはというテーマより、ヘルメットを全員にかぶらせるには、の方が多くアイデアが出るかも知れません。
- (2) 会場は四角く並べた机、大きな模造紙も用意  
全員の顔が見えるのが秘訣です。後日整理のため記録を残すことも重要です。
- (3) リーダーとサブリーダーを決める。  
リーダーの役割は、全体の流れを掴み、纏めていく、発言を促すなど乗せ上手な人。サブリーダーは、発言カードを模造紙に貼り付けたり、要約を書き込んだりして補佐をする。
- (4) 参加人数は、多くて10名程度  
内容と制限時間によって、1チームの人数を決めます。5-7名が中心。
- (5) 自由に発言(発表)を旨とする
- (6) 発言したいこと発表したいことを先の人がすれば、別の事を発言・発表する。
- (7) 時間は1時間が目処、発言・発表が詰まったら、5分程度休憩を取る。
- (8) 発言・発表要旨を一行表現で書く
- (9) リーダーは、制限時間の15分前にはまとめの作業に入る。



## 4 さあー 始めよう 参加者着席 (カードBS法による)

- (1) リーダーからテーマと背景の説明をします。
- (2) 参加者は、発言・発表内容をカードに書きます。
  - ① 発言・発表要旨を一行表現で書くこと。
  - ② 書き方は、「なににながどうした」「なにになをこうしたい」「なににながなにしている」ように、原因と結果や現象を具体的に主語・述語・動詞が要約されていることが、後々まとめやすい秘訣です。
- (3) 順番に1枚ずつ発表します。
  - ① リーダーの左側の人から順番にします。
  - ② 発表したカードをテーブルのセンターに置きます。
  - ③ 次の発表されたカードと先カードの内容について、内容の本質が同じようか、原因と結果というように因果関係にあるか、上下の関係にあるかを見て、同じようなグループをテーブル上で島を作っていきます。また、まとめきれないカードは、単独カードして残します。
  - ④ 同じ内容を先の方が発表されたら、手持ちのカードは没にします。
  - ⑤ 他人の発言・発表に刺激されてアイデア等の結合・改善したカードを書くことも大切です。
  - ⑥ 目の前の島を見て、新たに思いついたこともカード化して追加します。
  - ⑦ 発言する手持ちのカードが無い時は、パスするか全員で思考タイムを設けます。
  - ⑧ 発表の終わるタイミングは、それぞれの島にカードが2-3枚あり、島の数が7-8あれば充分と思います。



## (4) カードのまとめ (KJ法)

テーブルの上には、幾つかの島(カード群)ができています。その島毎にそのグループを適格に表現する文章を参加者で考え、色違いのカードに記入して、その島の上部に貼り付け、島を線で囲みます。

## a 各カード群にタイトルをつける。

注意点として

- ① カード群の内容や要点をおさえる
- ② 内容全体を現す文章を考える
- ③ 表現は簡素に
- ④ 他カード群のタイトルと重複がないようにする
- ⑤ タイトルは青字、個別カードは黒字と区別する
- ⑥ タイトルが付いたカード群をさらにまとめる
- ⑦ 小グループから中グループに、さらに大グループというように
- ⑧ 上位グループ毎に、また、タイトルを付けます。



(5) 作図します。

- ① 出来上がったいくつかの大グループ、まとめきれなかった中小グループや単独のカード原因と結果というように因果関係にあるか、上下の関係にあるか、又はかたまり毎の親近性を重視して模造紙にレイアウトします。
- ② レイアウトが終了したらすべてのカードを展開して貼り付けます。
- ③ グループ毎に線で囲ったり、グループ間の関係を矢印で結んだり、重要グループは赤でハイライトするなどビジュアルにまとめます。

(6) 発表

- ① リーダーを中心に、参加者は模造紙に貼り付けされたカード群の文章化（ストーリー）を考えます。
- ② サブリーダーは、模造紙の各カード群を指差しながらストーリーやまとめの状況を発表します。
- ③ 発表後について、時間があれば参加メンバーが補足意見、感想を一人1分を目安に発表します。
- ④ リーダーは、今回で解かった重要事項を整理するなど総括意見を発表します。

END